科目名	工作実習	英語科目名	Manufacturing practice	
開講年度・学期	平成 28 年度・通年	対象学科・専攻・学年	本科 1 年	
授業形態	実習	必修 or 選択	必修	
単位数	3 単位	単位種類	履修単位	
担当教員	川村壮司	居室（もしくは所属）	機械工学科棟 2 階	
電話	内線 201	E-mail	t-kawamura@小山高専ドメイン	
授業の到達目標	授業到達目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準要件	
1. 工作機械の名称と構造および基本作業（安全確保）ができること.		②		
2. 工作実習に関する基礎（目的，機械加工）の理解ができること.		②		
3. レポート作成ができること.				
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法				
課題および提出レポートの内容を設定水準で評価する.				
評価方法				
各実習内容についての課題とレポートの内容を評価して 60%以上を合格とする.				
授業内容				
班編成のもと、1 テーマを 5 週で完了して年間 5 テーマの内容を行う。班ごとの担当指導員により実施する。				
1. ガイダンス（1 週） 実習作業内容の確認，危険予知訓練				
2. 鍛造作業（5 週） 鍛造の基礎，スコヤの製作作業				
3. エンジン分解・組立作業（5 週） 工具の扱い方（トルク・メガネ・ソケット・コンビネーションレンチ），ガソリンエンジンの分解・組立作業				
4. 旋盤作業（5 週） 基礎（構造と機能），段付き軸の製作作業				
5. 仕上げ作業（5 週） 仕上げの基礎（ケガキ，ヤスリ，ねじ切り），ボール盤作業，アングルピースの仕上げ作業				
6. 計測および工作基礎（5 週） 計測工具の基礎（ノギス，マイクロメータ），三次元測定，板金作業				
7. 危険予知訓練（2 週程度） 危険の種類と実際の作業の危険，発表形式による確認作業				
キーワード	機械加工，			
参考書	「機械工作法」 コロナ社 著者：平井三友，和田任弘，塚本晃久			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	なし			
現学年の関連科目	機械工学基礎			
次年度以降の関連科目	工作実習，機械工作法			
連絡事項				
1. 各テーマ 5 週ごとに必ずレポートを提出すること.				
2. 実習は実技を重んじるため，病気，事故等以外に休まないこと。 (休む場合には，予めその理由を担当教員に連絡すること.)				
3. 定期試験は実施しない.				
4. 機械系科目の全分野に関わる重要な実習科目である.				
シラバス作成年月日	平成 28 年 2 月 12 日			